

閲覧検討事項

①再開日 5月9日（月）

- ・ タイル工事終了の目処について
- ・ 閲覧席・書架（粉塵）の清掃

※ 4/30～5/8 の作業および 5/9 の建美の清掃でどの程度行っていたか

→竹中工務店にて簡易の清掃は行うが、開館前にスタッフで行う必要あり

②開館時間

- ・ 作業効率をあげるためにはシフトを厚くする必要があるため、17 時もしくは 18 時閉館が望ましい。（復旧作業終了の目処により開館時間については検討の余地あり）
- ・ 月～金でシフトを組むほうが作業効率はよい（授業がない場合）

→全館 9:00-17:00 で開館予定（明日の館長・分館長会議で変わる可能性あり）

→授業は土曜日もあるため月・土のシフトとする

③カウンター業務

- ・ 1・2F 併せて 3 名体制でカウンターに入る（最低 1 名はカウンター常駐）

※ 閉架の利用がはじまると閲覧請求対応のためカウンター増員が必要になる

→しばらくは開架の貸出も行わないため、1F カウンターのみ 1~2 名の体制とする

→2F カウンターへはお知らせを掲示する

- ・ 行う業務

卒業生新規・更新、返却受付、AV ブース利用、館内閲覧（開架図書・1F 雑誌）

学生要望図書の受付 ※OJ・DB・ML 利用も可

- ・ 行わない業務

館外貸出（開架・教員リザーブもすべて）、ILL（依頼・受付）、学内相互貸借、
予約、閉架書庫の利用（閲覧申請・貸出・入庫）

→開架のみ貸出可としてはどうかという案を出したが、館長判断により全館の閉架書庫利用
の見通しがつくまでは全館で開架も貸出停止とする

④その他の検討事項

i) 新刊の扱い（閉架図書・雑誌）

（案）新刊は閉架もブックトラックに載せて 1 ヶ月程度は開架へ並べておく

（図書 2F・雑誌 1F）

※ 分室配架分の扱いはどうするか

→保留（貸出ができないため開架に並べることで教員からの貸出要望が出る可能性がある）

ii) 未返却図書の扱い（督促はしない）

（案）3 月 11 日までの貸出がある利用者へ図書館の再開のお知らせをかねて図書の保管状況確認

を郵送する。(2010 年度退職教職員も含)

※お亡くなりになった利用者がわかれば事前にお知らせ対象からは外したい

→お知らせ対象者は学部生・大学院生・卒業生・退職者・研究生

→死亡者および行方不明者は 5 名おり、学生課へ専任職員が確認する

iii) 被災による汚破損・紛失により返却ができない場合の対応

汚破損届け不要？(口頭・電話での受付のみも可とするか)

→汚損破損問わず、現物があるものは全て返却として受け付ける

→紛失については要検討

iv) 分室開館日の目処(分室開館に併せて博論の閲覧受付も行う)

大学院の教員用コピーカード利用(授業用レジュメのコピー等で使用)について中央図書館でも受け付けるか(年度始めに利用が多い)

→中央図書館カウンター内のコピーを利用することは可能(ただし予算は中央図書館の予算となる※分室での利用の場合は施設課予算)

v) 卒業生の更新・登録の書式について

一般利用の開始に伴い変更予定だったがどうするか(一般開放は延期予定)

→一般開放は延期のため、今までどおりの書式で対応する

vi) 掲示物の作成について

- ・ 貸出冊数の変更・更新回数の変更 → 貸出サービス停止のお知らせ
- ・ 学内相互貸借の停止 → 予約・相互貸借停止のお知らせ
- ・ 閉架書庫利用の停止
- ・ 分室休館
- ・ 利用説明会の延期
- ・ ILL サービス停止

→出来ない項目が多いため、まとめて掲示作成(出来ること・出来ないこと)

vii) 利用説明会について

泉キャンパス図書館からの要望→ガイダンスについては学科全体で同時開催にできないか

→泉から館長分館長会議で話しを出してもらう

viii) ネットワーク利用について

DB 等の代行出力について(卒業生からの依頼があった場合の可否)

→卒業生の DB 利用については基本的に OPAC コーナーでの利用は目をつぶるが、代行出力は認めない方向とする。ただし、ものによっては学外者可のものがあるため、千葉課長補佐にて参考の一覧を作成

ix) 研究機関事務課の利用についての確認

いつから利用できるのか

どういった利用ができるのか

→ 不明のため今後確認